

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
東京都教育目標
練馬区教育目標 等

学校教育目標
○深く考え、自ら実行する
○思いやりの心で協力する
○美しい心、たくましい体をつくる

学校、地域の実態と地域の願い
学校は落ち着いて学習できる環境にある。地域の人々は学校教育に協力的であり、地域の子供として健全に育ててほしいと願っている。

保護者の願いや期待
学力の向上に期待を寄せ、生徒により良い自己の進路実現をしてほしいと願っている。

学校の願い
基礎学力を身に付け、主体的な学びを通して一人一人が生き生きと輝く生徒に育ててほしい。

学校経営方針（学力向上に関わる要点）
○数学・英語の習熟度別少人数授業を実施する。
○ガイダンスシラバスの内容を充実する。
○地域人材を活用し学力補充教室を推進する。
○家庭学習の充実と質の向上への指導を行う。
○図書館の整備および効果的な活用を推進する。
○小中一貫教育を充実させる。
○タブレットの効果的な活用および課題・動画等の配信を推進する。

各教科の指導の重点	
国語科	「話す」「聞く」「書く」「読む」の言語活動を通して、場面に応じて活用できる言語能力を高める。
社会科	ICTの活用と協働的な学習で理解したことを活用する技能の向上と思考力の育成を図る。
数学科	基礎的な知識・技能の習得と論理的思考力向上のために、少人数で生徒の習熟の程度に応じた学習を展開する。
理科	理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。
音楽科	表現や鑑賞を通して豊かな情操や感性を育む。
美術科	作品の制作や鑑賞を通して美しさに感動する心を育てる。
保健科	保健衛生の知識を生かし、自らの健康づくりと体力向上を図り、集団の規律と協調を育成する。
技術・家庭科	生活の充実を図ろうとする態度を育成するために基礎的な実習を展開する。
英語科	少人数指導による個々に応じた指導と技能統合型の言語活動を通して実用的な英語力を育む。

本校における確かな学力
学習指導要領の理念・内容に示された基礎・基本を重視し、次の力を養う。
○知的好奇心をもち自ら学び続ける力
○積極的に課題を解決する力
○共に学び、生きようとする力

総合的な学習の時間の指導内容
○職業調べ、上級学校調べ、国際理解学習を通して様々な生き方を学ぶ。

キャリア教育の指導の重点
○3年間を見通して発達段階に即した組織的・計画的な進路指導を行う。
○上級学校調べ・職場調べ等の学習を行う。
○生徒・保護者との共通理解の下に進路指導を進める。

生活指導の重点
○授業規律・生活規律を確立させ、自治力、正義感、自浄力を高め、自律した生徒集団を育成する。
○一人一人の人権を尊重し、いじめの防止と不登校生徒への配慮に努める。

道徳教育の指導の重点
○自尊感情、思いやりの心、生命尊重、規範意識の育成、社会連帯意識を重点的に育む。
○美しい心を持ち、誰とも仲良く優しくできる心の輝きを育てる。

特別活動の指導の重点
○体験的活動の充実を図り、望ましい人間関係を築かせる。
○自主性と協調性を育成し、学校行事、学年行事、学級行事に積極的に参加する能力と態度を養う。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○興味・関心を引き出すために、体験的な学習を多く取り入れる。 ○授業のねらいを明確にし、見通しをもって分かりやすい授業を展開する。 ○数学科と英語科で習熟度別少人数授業を実施し、生徒の個々の能力を伸ばさせる。 ○9年間での継続的な学習指導の工夫を小学校と連携し推進する。 ○授業評価アンケートを実施し、授業改善に努める。	○朝読書を通して、読解力と豊かな感性を育む。 ○長期休業日等に学力補充教室を実施し、放課後の質問教室・学習相談を充実させ、学力向上に努める。 ○小学校と連携して課題改善カリキュラムを作成し、9年間を見通して表現力の伸長を図る。	○授業公開を設定し、アンケート等で外部の声を授業改善に生かす。 ○研究授業を積極的に実施し、OJTにより教員の授業力向上を図る。 ○指導法・評価法の研修を実施し、教員の資質・能力の向上を図る。 ○小学校との一貫・連携の研究として研究授業を相互で実施、言語活動を充実し思考力、判断力、表現力の伸長を図る。	○最初の授業でガイダンスを行うことや、ガイダンスシラバスを作成し配布することで、生徒・保護者に評価の方法について明確に示す。 ○年間指導計画・評価計画に基づき、より客観性・信頼性のある評価・評定を行う。 ○全生徒を対象に授業評価を実施し、授業改善に生かす。	○開かれた学校づくりを推進する。 ○外部講師を活用した講演会等の充実を図る。 ○学校地域連携事業として地域の人材を積極的に活用し、授業や学力補充教室の充実を図る。 ○学校だけでなく、学校ホームページの内容を工夫し、充実させる。